

塾生募集

オープンイノベーション ナノセルロース塾

第3期(2020年度)

オンラインで開催・講義内容を一新



期 間 令和2年 **10** 月～令和3年 **2** 月 (全 **5** 回 **土** 曜日開講)

受講方法 **オンライン配信** (Zoom)

定 員 **100** 名 (先着順)

資料代 **25,000** 円 (5回分一括) * 申込受付後に振込先を連絡いたします。

募集期間 令和2年 **9** 月 **10** 日 (木) ~ **10** 月 **9** 日 (金)
ただし定員になり次第締め切らせていただきます。

申込方法 E-mail に下記の事項を記載のうえ、お申し込みください。

申 込 先 : h.yokota@tc-kyoto.or.jp

メール件名 : ナノセルロース塾申込

記載内容 : ①受講者の氏名 (ふりがな) 及び所属・役職

②企業の名称及び所在地

③受講者の連絡先 (E-mail・電話番号)

* 申込みに当たっては、備考もご確認ください。

主催 : 京都大学生存圏研究所, 地方独立行政法人京都市産業技術研究所
共催 : 近畿経済産業局, 新素材-CNF ナショナル・プラットフォーム事業
後援 : ナノセルロースジャパン

“ナノセルロース塾” 開講宣言

(2018年6月)

塾長 京都大学客員教授
副塾長 京都大学特定准教授
顧問 京都大学教授

渡邊 政嘉
吉田 朋央
矢野 浩之

セルロースナノファイバー(CNF)に関わる研究開発活動は、国内外で盛んに進められています。激化する国際競争の中で我が国のCNF関連企業がフロントランナーとして主導的なポジションを獲得するためには、企業内部での自前開発だけに頼っているだけでは限界があり、戦略的に社内の強みを生かしながら、外部の資源を積極的に取り込む活動が必要不可欠となっています。

新たな市場を開拓するためには従来技術の延長線上の発想を超えて、異なる技術分野との融合によって生み出される新たな価値創造活動が原動力となります。

しかしながら、異なる技術や事業分野とのネットワーク形成は必ずしも簡単ではなく、困難を伴います。そこで新たにCNF関連企業がオープンイノベーション活動を円滑に進める場づくりとなる活動としてオープンイノベーション“ナノセルロース塾”を開講します。

具体的にはCNF以外の異分野技術に関する専門家を招聘し、異なる技術領域との融合や複合によりCNFの新たな活用に関するヒントを得るとともに、将来の共同研究開発等のシーズ開拓やマーケット開拓のヒントを得る場を設けます。

*“ナノセルロース塾”は、CNF技術に関心を持ち新たな用途開発や市場開拓を検討している技術者、研究者、技術営業担当者、マーケティングリサーチャー及びコンサルタントなどの方を対象とします。

第2期からの講義内容を一新し、コロナ禍でもネットワーキングを実施

- ・第3期の講師のうち3分の2が新たな講師となり、リピーターの方にも新鮮な内容をお届けします。
- ・コロナ禍のもと対面による交流が困難な中、交流が少しでも促進できるよう運営に工夫していきます。

ナノセルロース塾は、第1期・第2期の受講生から高い評価を得ております。

- ・満足度： **99%** 「基礎から応用まで幅広い知識が得られた」、「普段交流のない業種の企業と意見交換ができた」など
- ・情報交換会の有益度： **93.5%** 「技術・商品の情報が得られた」、「商品展開や新たなターゲットにつながった」など
- ・参加者とのネットワークが構築：受講者のうち3分の2に近い **64社** が新たな企業とネットワークを構築

* 受講生のアンケート調査結果から引用（回収率：第1期87%，第2期82%）。数値は、第1期と第2期の平均値

講義内容

No	開講日	講師（プロフィールは後述参照）	テーマ
1	10月31日（土）	13:30～ 渡邊 政嘉（塾長） 京都大学客員教授 14:10～ 矢野 浩之 京都大学教授 15:20～ 伊福 伸介 鳥取大学教授	オープンイノベーション実践のコツ1， CNF材料の基礎
2	11月21日（土）	13:30～ 能木 雅也 大阪大学教授 14:40～ 北岡 卓也 九州大学教授 15:50～ 吉田 朋央（副塾長） NEDO イノベーション推進部主幹	オープンイノベーション実践のコツ2， 新材料
3	12月5日（土）	13:30～ 府川伊三郎 NEDO フェロー 14:40～ 内村 浩美 愛媛大学紙産業イノベーションセンター長	新たなマーケットへの挑戦
4	1月23日（土）	13:30～ 江藤 学 一橋大学教授 14:40～ 吉木 政行 NEDO バイオエコノミー推進室長	国際連携・標準化
5	2月27日（土）	13:30～ 菊池 康紀 東京大学准教授 14:40～ 臼杵 有光 京都大学特任教授	自動車用材料

●開講時間 毎回 13:30～17:20 毎回講義のあと、ネットワーキングを開催します。

講師紹介

(敬称略)



渡邊 政嘉

京都大学客員教授（経済産業省東北経済産業局長）。経済産業省産業技術総合研究所室長，紙業服飾品課長，産業技術政策課長，新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）理事，中小企業庁経営支援部長を経て2020年7月より現職。研究所経営（オープンイノベーションハブ戦略）に関する研究，セルロースナノファイバーの産業利用に関する研究等，多数実施。紙業服飾品課長時代に世界に先駆けナノセルロース社会実装に向けたナノセルロースフォーラムの設立をリード。受賞歴：型技術協会創立30周年「功労者賞」，日本機械学会創立120周年記念功労者表彰など。博士（工学）



吉田 朋央

新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）イノベーション推進部主幹。NEDOプロジェクトマネジメント室主査等を経て2016年より技術戦略研究センター主査に就任しNEDOのプロジェクトマネジメントシステムの開発やプロジェクトマネージャーの育成を主導。2018年5月より京都大学特定准教授に在職し，2020年4月から現職。博士（工学）



矢野 浩之

京大学生存圏研究所教授。京都府立大学林学科助手，同講師，京都大学木質科学研究所助教授を経て2004年より現職。セルロースナノファイバー材料の開発によりセルロース学会林治助賞，日本木材学会賞を，パルプ直接湿練法“京都プロセス”の開発により本田賞，TAPPIナノテクノロジー部門賞をそれぞれ受賞。渡邊課長（当時），磯貝教授と連携してナノセルロースフォーラムの設立，運営に貢献。農学博士



伊福 伸介

鳥取大学工学研究科教授。鳥取大学講師，准教授を経て2018年より現職。廃カ二殻の活用のため，キチンナノファイバーの利用開発に従事。多様な生理機能を明らかにする。2016年に大学発ベンチャーを起業。代表を兼務し，多数の製品化を達成。文部科学大臣表彰若手科学者賞，セルロース学会・キチンキトサン学会奨励賞，安藤百福賞，鳥取県ビジネスプラン大賞等，受賞多数。博士（農学）



能木 雅也

大阪大学産業科学研究所教授。2002年名古屋大学にて博士（農学）取得後，京大学生存圏研究所（矢野研究室）にて産学連携研究員や日本学術振興会 特別研究員などを行う。2009年11月より大阪大学産業科学研究所 先端実装材料分野（菅沼研究室）助教，2011年12月より同研究所 セルロースナノファイバー材料分野 准教授，2017年8月より同研究所にて教授。



北岡 卓也

九州大学大学院農学研究院教授。大蔵省印刷局（現 独立行政法人国立印刷局），九州大学農学部助手，同助教授・准教授を経て2013年より現職。天然多糖の界面構造・ナノ形態が鍵を握る有機分子触媒反応やバイオマテリアル開発など，新材料・新機能開拓研究を精力的に実施。文部科学大臣表彰若手科学者賞，日本学術振興会賞，セルロース学会賞，繊維学会賞など多数の受賞。セルロース学会理事，機能紙研究会理事など。博士（農学）



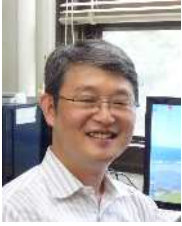
府川 伊三郎

新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）技術戦略研究センター・フェロー，（株）旭リサーチセンター・シニアリサーチャー。元・旭化成取締役（中央技術研究所長，MMA事業部長，富士支社長），元・福井工業大学経営情報学科教授。日本化学会フェロー，高分子学会フェロー，博士（工学）。専門：工業有機化学・MOT，CO₂を原料とする非ホスゲン法ポリカーボネートの開発で，日本化学会技術賞，大河内記念賞，ACSヒーローオブケミストリー賞などを受賞。



内村 浩美

愛媛大学 特別荣誉教授，社会連携推進機構 紙産業イノベーションセンター センター長。大蔵省印刷局研究所主任研究員，独立行政法人国立印刷局セキュリティ製品事業部参事，愛媛大学農学部教授を経て2014年より現職。現在，愛媛大学社会共創学部教授，同大学大学院農学研究科教授等。集束イオンビームによる紙及び印刷物断面試料作製法の開発により，文部科学大臣表彰研究功績者賞，日本印刷学会技術賞，同学会論文賞，財務省印刷局長賞など多数の受賞。四国CNFプラットフォーム運営委員長，機能紙研究会会長などを歴任。博士（農学）



江藤 学

一橋大学イノベーション研究センター教授。産業技術研究所標準部長、経済産業省産業技術環境局認証課長、JETRO ジュネーブ事務所長などを経て2013年一橋大学特任教授、2016年現職。ナノセルロースフォーラム知財標準化分科会長、ナノセルロースジャパン標準化分科会長など、ナノセルロース分野の標準化に関わる。「コンセンサス標準戦略」(新宅純一郎氏と共著)、「標準化ビジネス」(藤野仁三氏と共著)など、標準化に関する著書・論文多数。博士(工学)



吉木 政行

新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)材料・ナノテクノロジー部バイオエコノミー推進室室長。1989年大阪大学大学院基礎工学研究科後期課程より日本電気(株)入社、センサ、半導体プロセス等に関する研究開発に従事。2003年NEDO入構。研究開発推進部 主査および主幹、電子・情報技術開発部 主幹、電子・材料・ナノテクノロジー部 統括主幹を経て、2016年4月から2020年3月の4年間 材料・ナノテクノロジー部 部長。2020年4月より現職。工学博士。



菊池 康紀

東京大学未来ビジョン研究センター准教授。2009年 東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻 博士課程修了 博士(工学)、2019年4月より、現職。「プラチナ社会」総括寄付講座の代表を兼務、工学系研究科にて研究室を運営。専門はプロセスシステム工学、化学システム工学。日本 LCA 学会および化学工学会研究奨励賞、生物工学技術賞、World Cultural Council: Special Recognitions などを受賞。地域における新規な技術システムの導入を産学公の協創にて推進している。



臼杵 有光

京大学生存圏研究所特任教授。元豊田中央研究所取締役、シニアフェロー。世界で初めてナノクレイを用いたナイロン6クレイナノコンポジットを開発、自動車用材料として実用化。2016年から京都大学特任教授としてCNFを用いた自動車の開発を進める「環境省ナノセルロースビークル(NCV)プロジェクト」のプロジェクトリーダー。ケイ素化学協会技術賞、高分子学会賞受賞。前高分子学会副会長。工学博士

備 考

- ナノセルロース塾は、CNF関連企業がオープンイノベーション活動を円滑に進めるための場づくりとなる活動を目指しています。
そのため、受講者間の交流が促進できるよう、受講者にはパワーポイントによる自己小紹介スライド(受講者の氏名、メールアドレス、メッセージ等を記載)を作成していただき第1回目のネットワーキングで発表・配布します。
また、ネットワーキングでは、受講生の自社アピールのコーナーを設け、事前にお送りいただいたPRファイル(2分程度・ナレーション付き)を受講期間中に配信します。
なお、オープンイノベーション活動を円滑にできるよう、事務局が講師や受講者へのコンタクトなどについて必要に応じて支援させていただきます。
- 毎回事前に講義資料を郵送します。また、受講者専用サイトにも講義資料を掲載します。
- オンライン配信にて参加いただく環境は、受講者側でご準備ください。また、インターネット回線の通信状況等により、良好に聴講できない可能性があります。

問合せ先

地方独立行政法人京都市産業技術研究所 担当：横田
TEL 075-326-6100(代表) E-mail h.yokota@tc-kyoto.or.jp